

柄沢正三 県議会だより

ご挨拶

越後平野も新緑から深緑となり、紫陽花が雨に映える季節を迎えました。

ただ今年は、新型コロナウイルスの出現でいつもとは違った景色が広がっています。

人類の歴史は、感染症との戦いの歴史でもありました。今回の新型コロナウイルスもそうですが、感染症は人と人との接触を避け、人の移動を制限しなければなりません。

しかし、人の移動制限は経済活動が停止してしまいます。企業や個人事業主に対するいわゆる休業補償対策は、国が責任をもって対応しなければなりません。

そして何よりも、治療薬とワクチンが開発されなければ、根本的な新型コロナウイルスの撲滅にはなりません。それまでは、イベントや経済活動の自粛と緩和をバランスよく使い分けて長期戦に対応し、医療崩壊を起こさないように感染拡大を防止していくことが重要です。

何の変哲もない平凡な日々が、如何に大切であったかをつくづく感じさせられました。

朝の来ない夜はありません。国を挙げて新型コロナウイルス対策に立ち向かい、そう遠くない時期に必ずや勝利宣言ができるものと確信いたします。

みんなで力を合わせてその日を迎えましょう。



新潟県議会議員 柄沢正三

新潟県の新型コロナウイルスに関する対応状況

令和2年

2月 3日 帰国者・接触者相談センター設置
2月28日 県立学校の臨時休校を決定(3/2~)
2月29日 知事を本部長とする第1回対策本部会議
(県内初の感染者発生による)
3月10日 新型コロナウイルス感染症コールセンター設置
3月27日 特別措置法に基づく対策本部設置
3月30日 県医療調整本部を設置
4月21日 県内事業者に対する休業要請
4月24日 東北・新潟緊急共同宣言

4月30日 政府に対する緊急要望を実施
5月15日 県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を設置
5月15日 県内事業者に対する休業要請解除
5月18日 長岡と柏崎にPCR検査センター開設
6月 1日 県境をまたぐ移動の自粛要請一部解除
(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、北海道を除く)
6月 1日 臨時休校していた県立学校を再開
6月16日 新型コロナウイルス対策費78億9千万円を補正予算に計上
6月19日 県境をまたぐ移動の自粛要請全て解除

■新型コロナウイルス感染症対策特別融資

(新潟県セーフティネット資金の融資対象拡充による特別融資)

融資限度額

5,000万円

■休業要請に伴う協力金

(県の要請に応じて、休止や時短営業をした中小事業者へ1事業者あたり)

10万円支給

■民間金融機関を通じた資金繰り支援

(3年間実質無利子・保証料ゼロ)

融資限度額

3,000万円

■新潟県民宿泊キャンペーン

(県民による県内の宿泊需要を喚起) 6/1~7/31

1人当たり 5千円

■感染拡大防止対策推進支援金

(事業者が「3密」を避けるために行う設備整備費用を支援)

最大 20万円

県の
支援
メニュー

2月県議会 総務文教常任委員会

知事政策局質疑【令和2年3月2日開会】



質問【柄沢県議】

新型コロナウイルスの感染者が本県でも確認された。国もいよいよ本格的に対策に動き始めた。県はこの新型コロナウイルス対策をどのように進めていくのか。

答弁【総括政策監】

新潟市での新型コロナウイルスの発症を受けて、警戒本部を知事を本部長としての対策本部に格上げした。まず最重点で取り組むべきことは、感染の拡大防止です。県としても福祉保健部を中心に、新潟市に協力して感染拡大防止に取り組んでいきます。

質問【柄沢県議】

今後、新型コロナウイルス対策で様々な問題が出てくると予想されるが、今現在、一番直面している課題は何か。

答弁【総括政策監】

現在、対策本部の中で、防災局と福祉保健部を中心に取り組んでいるが、感染防止の観点では、県立病院における資材の不足等が喫緊の課題として上げられます。

質問【柄沢県議】

感染拡大を防ぎ、それと同時並行に経済対策もやらなければならない。

中小企業や個人事業主向けの緊急資金繰りの支援、雇い止め等に対する雇用対策、休業要請で生ずる所得保障等、これらは国が責任をもって対応して行くべき課題だ。このことについて、県はどう考えていくのか。



答弁【総括政策監】

休業要請や株価の下落、イベントの自粛、学校の一斉休校等様々な面で影響が出てきます。まずはその影響をしっかりと把握し、国の対策を踏まえて、県としての必要な対策をしっかりと取り組んで行くことが重要と考えています。

質問【柄沢県議】

新型コロナウイルス感染に伴いSNS等でデマが流れて、マスクはもちろんのこと、トイレットペーパーの果てまでどんどん品薄になっている。

県民がこのようなデマに惑わされないように、県の方で、SNSやテレビ等の手段で何とか対策を打ち出せないものか。

答弁【広報広聴課長】

新型コロナウイルスの広報については、県のホームページで最新の情報を掲載しています。さらに、県のホームページから自動的にツイッターに飛ばすシステムが出来ており、日々適時適切につぶやいております。

また、テレビでの呼びかけをして行くように現在検討しているところです。



質問【柄沢県議】

県財政が厳しい中でも、本県の発展や税収、そして県民の所得アップに向けての様々な施策は重要である。

特に、若者の起業支援や成長産業促進対策は、県民の所得アップや税収アップにつながるものであるから、積極的な政策を進めて行くべきだ。

答弁【総括政策監】

厳しい財政が続く中で、税源涵養を図る取り組みは重要です。より付加価値の高い産業構造へ転換して行くことが大事かと思えます。

若い方々の起業支援や、地域経済を牽引する企業を増やし、稼ぐ力を増やすことが大事であり、その取り組みを進めてまいりたいと考えています。

教育委員会質疑【令和2年3月5日開会】

質問【柄沢県議】

高校入試では、受験生にマスクの着用をお願いしているところである。しかし、マスクが品薄で購入できない家庭も多いと聞く。そこで試験会場の方でマスクの準備はできないか。

答弁【高校教育課長】

基本的には、マスクは受験生で準備する旨中学校に通知しています。準備できない受験生は、保健室の分を使って補填したり、教職員分のマスクの備蓄分で対応できるものと思います。



質問【柄沢県議】

都市部と過疎地域との教育格差が指摘されている。そこで今、政府は教育の現場でICTを導入したオンライン化を進めている。

本県のICT導入の取り組みはどのような状況にあるのか、また今後の見通しを伺う。

答弁【教育委員会総務課長】

この度の補正予算を受けて、県立学校の無線LAN整備と義務教育における1人1台の端末設備を予算化したところです。

今後は、令和5年度末までに、義務教育課程全てに1人1台の端末整備が達成できる状況です。

答弁【教育長】

高校については国の交付税措置という対応で、端末も3人に1人というのが国の基準であります。

本県は全国平均に比べると、高校段階では少し後れている状況です。Wi-Fiの環境整備を令和2年度の目標に掲げ、今後の整備計画の方針を固めてまいりたいと思っています。

県民所得アップ対策特別委員会質疑

【令和2年5月21日開会】



質問【柄沢県議】

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新潟空港の国際線は休止しているが、国内線はどのような状況か伺う。

答弁【空港課長】

4月の搭乗率ですが、札幌線は17.6パーセント、名古屋線は11.6パーセント、大阪線が26.7パーセント、福岡線については14.1パーセントという状況です。

質問【柄沢県議】

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業要請で、旅館業や温泉地等の観光産業は大変な影響を受けている。

インバウンドは長期戦を覚悟しなければならないが、国内旅行とりわけ県内観光を一早く回復させることが肝要だ。

このことについて、県の観光産業に対する今後の支援策を伺う。

答弁【観光局長】

インバウンドについては、非常に先行きが見えない状況であります。県としては、当面県内そして国内観光を最優先に考えて行きたいと思います。

具体的には、県内の需要喚起ということで、県民対象の割引プランというものを作って行きたいと考えています。



5月21日、花角知事は、県民向けの宿泊割引キャンペーンを契機に、県内での観光需要の喚起に着手し、1人当たり5,000円の割引クーポンの配布を決定。

活動報告



県議会代表質問 (H31.2.21) 【本会議場】



菅官房長官と (H31.2.26) 【首相官邸】



柄沢正三杯ゴルフ大会 (R1.5.21) 【長岡CC】



柄沢正三杯親善ゲートボール大会 (R1.6.8) 【与板河川敷】



柄沢正三杯親善グランドゴルフ大会 (R1.9.4) 【越路河川公園】



大河津分水路改修工事第二床固大型ケーソン川底設置 (R2.5.5) 【大河津分水河口】

柄沢県議役職

- 自民党新潟県連筆頭副会長
- 新潟県サッカー協会会長
- アルビレックス新潟後援会会長
- 新潟県少林寺拳法連盟名誉顧問
- 新潟県歯科医師連盟顧問

議員連盟役職

- 拉致問題地方議会全国協議会副会長
- 北朝鮮拉致救出議員連盟会長
- 成長産業促進議員連盟会長
- 日華友好交流議員連盟会長
- 国際交流議員連盟副会長
- 日口友好議員連盟副会長
- 保育事業振興議員連盟副会長
- 土地改良議員連盟副会長
- 港湾・エネルギー議員連盟副会長
- 郵政・運輸問題議員連盟副会長
- 地域介護・高齢者福祉議員連盟副会長
- 神道政治連盟副会長
- 水産振興議員連盟副会長
- 猟友議員連盟副会長
- 瓦産業振興議員連盟副会長

信濃川堤防強化対策

昨年10月の台風19号により、千曲川と信濃川は甚大な被害を受けました。
 柄沢県議は、信濃川河川事務所並びに国土交通省北陸地方整備局に対し、
 信濃川の堤防強化対策を要望し、それが早速、令和元年度国の補正予算に盛り込まれ、長岡市管内でも数ヶ所の堤防強化工事が開始されています。



令和元年10月 台風19号時の大河津分水河口



②長岡市寺泊敦ヶ菅根地先 堤防強化(浸透対策)



④長岡市横下町地先 堤防強化(漏水対策)



④長岡市西蔵王地先 堤防強化(漏水対策)



⑤長岡市下山町地先 河道掘削、樹木伐採



⑦長岡市篠花地先 護岸復旧



⑧長岡市浦地先 堤防強化

新潟県議会議員

柄沢正三 事務所

〒940-2402 長岡市与板町与板乙2445-4

TEL. 0258-72-3838

FAX. 0258-72-3088

Mail k.shozo@alto.ocn.ne.jp

HP www.karasawa-shozo.jp



柄沢正三 検索
 ホームページもご覧下さい。



QRコードでLINEの友だちを
 追加して下さい。